

曾於文藝

うたごよみ

俳句

末吉俳句会

さざ波の集まる所未草

瀬戸内 紀子

残り咲く小さき菖蒲の濃むらさき

泊 康

揺れゆれて笹開きゆく今年竹

西村 セツ

大陽俳句会

カーネーション供えて母の忌を待てり

鍋山 美智子

十薬の更にいとほし雨の中

岩重 みどり

高く飛ぶ鳥の輪郭卯月空

逆瀬川 節子

短歌

末吉短歌会

地に近く日のある雨に飛び立てる

デビューしたてのモンシロチョウたち

泊 康

題字

末吉文化協会会員 瀬戸口 淳民氏

栗の実を共に拾ひし孫息子

小六となりて「ジイジ」は間遠に

大森 巳喜生

彼の人の持ちしバッグも母の日の

プレゼントなるかいそいそとして

平田 美穂子

大陽短歌会

コマ撮りの写真のごとき動きして

つかまり立ちのみどり子しゃがむ

西山 美代子

新緑の萌えたつ季を鳴く鳥の

声高くして里の鎮もる

川辺 敦子

約束は守りますから屋根裏で

ハメルーンの笛今宵は吹いて

広川 ミドリ

財部短歌会

プーチンの戦勝記念日の演説に

プロパガンダの最たるを見る

脇丸 洋子

茶つみ機が戦車の様な音立てて

吸い込まれ行くみどりのいぶき

永岡 冴子

薩摩狂句

にがごい会末吉支部

遠足日 再度も狂たか

憎き大雨 鈴木 一泉

大雨なつ 田んぼは水が

掛濶でつ 胡摩ヶ野 べぶまつ

大雨降つ 爺は大騒しつ

孫迎め 桐野 奈世

大雨降い 雷れも鳴つ

爺は寝床 古川 一幹

大陽薩摩狂句会

エプロンが 良か態い似合ち

亭主しゆ褒めつ 津留 群志

自画像をば ピカソん上ち

褒められつ 小倉 りんりん

良か出来じゃ 技術よか道具く

凄ぜ褒めつ 境 すやすや

孫ん絵を 俺が血筋ち

凄ぜ褒めつ 西山 美代子